

トピックス

「あきたかた二十歳のつどい」(旧成人式)を開催します

令和4年度「あきたかた二十歳のつどい」を開催します。

※成人年齢変更に伴い名称を変更しました。

時 8月15日(月) 10時～(受付開始:8時30分～)

所 クリスタルアージョ

対象 平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの方で、下記のいずれかに該当する方

- 本市に住民票がある方
市内の小学校、中学校、高校いずれかを卒業した方

市ホームページ



生涯学習課 社会教育係

お太助フォン42-0054 42-4396

だれもが生きやすいまちづくり講演会

多くの人を抱える可能性のある「トラウマ」。誰もが生きやすい地域づくりのため、「トラウマ」の理解と共助について考えてみませんか?

講師 武庫川女子大学准教授

大岡 由佳さん



演題

「トラウマへの気づきを高め“人—地域—社会”によるケアを考える」

時 8月3日(水)13時30分～15時30分

所 甲田文化センターミュージズ

料 無料

問 甲田人権福祉センター

お太助フォン45-4922 45-4660

声で広報を届けます

目の不自由な方に広報「あきたかた」の内容をカセットテープやCDに録音した「声の広報」を無料で届けます。希望する方は社会福祉課障害者福祉係へ問い合わせてください。



問 社会福祉課 障害者福祉係

お太助フォン42-5615 42-2130

水辺のレジャーは楽しく安全に

川遊びや海水浴など、水辺のレジャーを楽しむときは、下記を心掛けてください。

- 事前に天気予報を確認する
ライフジャケットを活用する
水辺に一人で行かない
小まめに休憩する

市内B&G海洋センターでは、水辺で遊ぶときの注意点や溺れた時の対処法・救助の方法を学ぶ「水辺の安全教室」を毎年、市内小中学校で開催しています。

水辺の安全学習アプリ



問 B&G海洋センター

お太助フォン57-1616(高宮)

募集

人権啓発連続講座 受講生募集

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指して、私たちの身の回りで起こっている人権問題が学べる講座(全3回)を開催します。人権について一緒に考えてみませんか。

第1回

「部落問題と日本の結婚・恋愛」

講師 大阪教育大学

地域連携・教育推進センター 特任准教授 齋藤 直子さん

時 8月31日(水)

13時30分～

所 クリスタルアージョ

料 無料

第2回

「ヤングケアラー～子どもだった私の日常～」

講師 大阪歯科大学医療保健部

社会福祉コース教授

濱島 淑恵さん

元ヤングケアラー

高岡 里衣さん

時 9月9日(金)

13時30分～

所 クリスタルアージョ

料 無料

申問 吉田人権福祉センター

お太助フォン42-2826

yo-zinken@city.akitakata.jp

あきたかた市民文化祭 「舞台芸能の祭典」出演者募集

市民の皆さんが日ごろの舞台芸能活動を披露する年に一度の祭典を11月27日(日)にクリスタルアージョで開催します。



対象 本市に在住・在勤・在学の方

申込方法

各町文化センターにある出演申込書に必要事項を記入し、各町文化センターに申し込んでください。

申込期限 8月9日(火)

問 生涯学習課 文化・スポーツ係

お太助フォン42-0054

42-4396

川本観音堂 懸仏・厨子

(川本観音堂蔵 歴史民俗博物館寄託)



懸仏

こんどうしぞうぼさつざぞうかけぼとけそんぞう (金銅地藏菩薩坐像懸仏尊像)

高さ:15.9cm



厨子

もくぞうくろうるしぬりずし (木造黒漆塗厨子)

高さ:21.7cm

川本観音堂
吉田町川本にある2m四方の「辻堂」と呼ばれる小堂で、建築様式から18世紀に建立されたものと推定されています。
この辻堂の形式は吉田町域によくみられる形で、正面には部(光や風雨を遮る道具)がつけられ、残り三方が壁で囲まれています。

懸仏
懸仏は鏡像から発展したもので、12世紀頃から制作されるようになりました。5月号で紹介した鏡像は、神道で御神体とされる銅鏡に神仏を線で刻む、あるいは墨書したものでしたが、懸仏はより立体的な像を表現して円形銅板に貼り付け、つり下げで礼拝するようになったものです。

川本観音堂の懸仏・厨子

もとは懸仏の鏡板(直径30cm前後の円形銅板)に付属していた尊像(金銅地藏菩薩坐像)でしたが、鏡板は残っていません。顔や衣紋(仏のまとう装束のしわ)と蓮弁(仏の座るハスの台座)の線的な表現から平安時代末期に制作されたと考えられています。

懸仏全体の表現が丁寧な作りであることから、当時仏像制作の中心だった京都やその近郊で制作された可能性が高いとされています。

平安時代末期の懸仏は全国的にも数が少なく、当懸仏は県内で最古級となる貴重な作例です。
この懸仏を納める厨子も懸仏に合わせて作られたとされています。縦横比があまり変わらない特異な形態で、厨子前面には扉があったようですが現在は残っていません。
厨子の中の台座下に彫られた格狭間の形式から、15世紀末から16世紀初頭に作られたと思われる貴重な信仰資料です。